

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

## デザート製造機による手指外傷 (No.46 ジューサーによる手指外傷の類似事例2)

事例	年齢：4歳2か月	性別：女兒	体重：13.5kg	身長：95.0cm
傷害の種類	挫創			
原因対象物	デザート（凍らせたフルーツや野菜を加工して作成する食品）の製造機（図1、2）。本製品の食品を投入する部分の長さは15cmあり、投入口は長径約6cmの円型である（図3）。筒の先は歯がむき出しになっており、歯との接地面は直径4.3cmある（図3）。			
臨床診断名	右手指掌側挫滅創、深屈筋部分断裂			
医療費	1,295,990円			
発生状況	発生場所	自宅のキッチン		
	周囲の人・状況	製品がキッチンの床に置いてあり、母も側にいた。		
	発生年月日・時刻	2017年10月31日 午後6時50分		
	発生時の詳しい様子 と経緯	母親が、3ヶ月ぶりに本デザートを作成しようとした。延長コードがなかったため、製品を床に置いて使用していた。電源スイッチをONにしてしばらくすれば機械が冷えると思い、電源スイッチをONにしたままにしていた。 気がついたら、本児が食品の投入口から右手を入れていた。手はスムーズに入っていた。母親がすぐに手を抜き、救急車を要請した。本児の第2から第5指までの幅（手幅）は5.2cm、手関節から指先までの長さ（手長）は10.7cmであった（手をすぼめれば楽に入る大きさである）。		
治療経過と予後	<p>受傷当日に顕微鏡下で手術を施行した。第5指は擦過症のみ。第4指掌側は挫滅が強く、深屈筋が部分断裂していた（図4）。腱鞘は、基節骨遠位部から末節骨にかけて（C1, A3, C3, A5）完全に損傷していた。神経血管束は、明らかな損傷を認めなかった。第2、3指も腱鞘が完全に損傷していた。第2指については一部腱を覆うことが出来ず人工真皮を使用した。</p> <p>その後連日、創部の洗浄と軟膏を塗布する処置を鎮静下で繰り返した。受傷後2週間で創部の状態が安定してきたので、リハビリ訓練を開始した。感染を併発することなく、また血流も良く上皮化が進んで受傷後3週間で退院となった。受傷後2か月半が経過した時点で、創部は癒着している。腱と周囲組織の癒着があり、第2指は軽度の屈曲拘縮を認めている。伸展装具を使用し、外来でリハビリを継続していく予定である。</p>			



図 1 : 製品を側面から見た全体像  
(投稿者撮影)



図 2. 製品を分解した状態 (取り扱い説明書より)  
※販売元より画像提供



図 3. : 投入口を上方から見た様子。奥にカッター部分が見えている。(投稿者撮影)



図 4. 創部の術直前の状態